

2007年労働力調査結果に基づく業務上災害及び健康問題特集

主な調査結果

・業務災害(Accident at work)

- －EU27カ国の労働者の3.2%(700万人)が、1年の間に業務上の災害に遇っている。
- －これらの災害の10%は、業務中の交通事故である。

・業務関連健康問題(Work-related health problem)

- －EU27カ国の労働者の8.6%、すなわち2,000万人が、過去12ヶ月間に業務上の健康問題を経験している。
- －筋骨格系、ストレス、不安及びうつに関連する健康問題が最も多い。

・リスクへのばく露

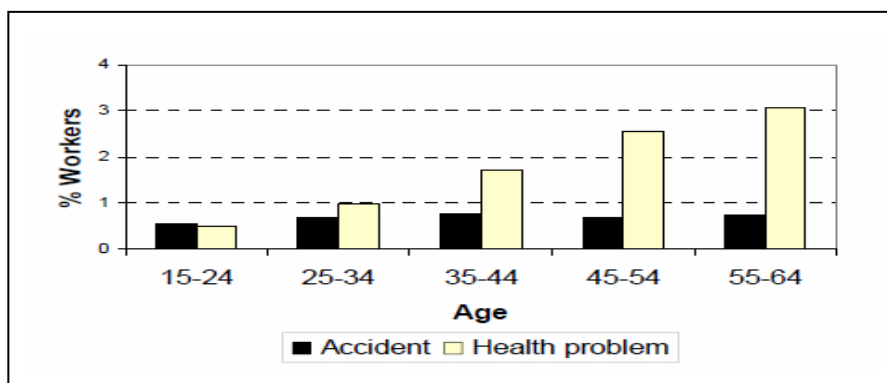
- －EU27カ国の労働者の41%、すなわち8,100万人の労働者が身体健康に悪影響を及ぼす可能性のある要因にばく露
- －EU27カ国の労働者の28%、すなわち5,600万人労働者がメンタルヘル스에悪影響を及ぼす可能性のある要因にばく露

災害及び健康問題の負荷

労働者の被災した災害の73%は、休業を伴うものであったこと、また、そのうちの22%は1月以上の休業であった。したがって、業務上の災害によって、EU27カ国の労働者の0.7%が1月以上休業している(図1)。

業務関連健康問題を有する労働者のうちの22%は、日常の業務についてかなりの制約を経験している。62%については、病欠があり、健康上の問題をもつ労働者の27%は、1月以上の欠勤をしている。したがって、EU27カ国労働者の1.9%が過去12ヶ月以内に1月以上の重篤な健康問題により欠勤をしていることとなる[図1]。

図1:過去12ヶ月に業務災害及び業務関連健康問題により1月以上休業した労働者数の年齢階層別の状況



**業務災害**

EU27 カ国において、労働者の 3.2%、すなわち 690 万人が調査前 12 ヶ月に負傷を伴う 1 回以上の災害に遇っている。多くの労働者は、1 回の災害であるが、0.8% (80 万人) の労働者は 2 回以上災害に遇っている。

男性は女性よりも被災しやすく、災害はまた若年層において起こりやすい(図2)。高齢者層において、災害の率は、女性の場合は若年層と余り違いはないが、男性では年齢が高くなるほど低くなっている。

図2 過去 12 ヶ月に被災した労働者の年齢階層別の状況

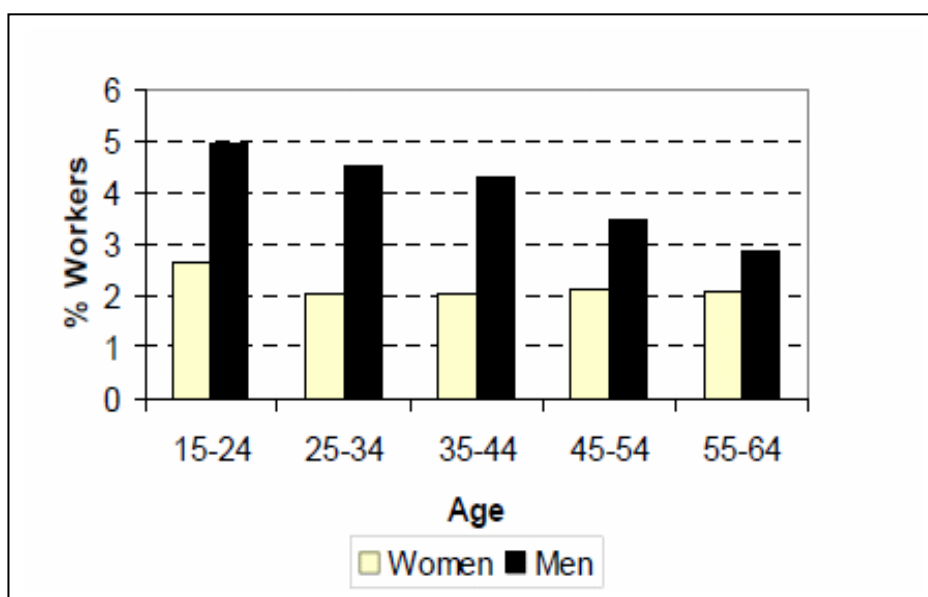
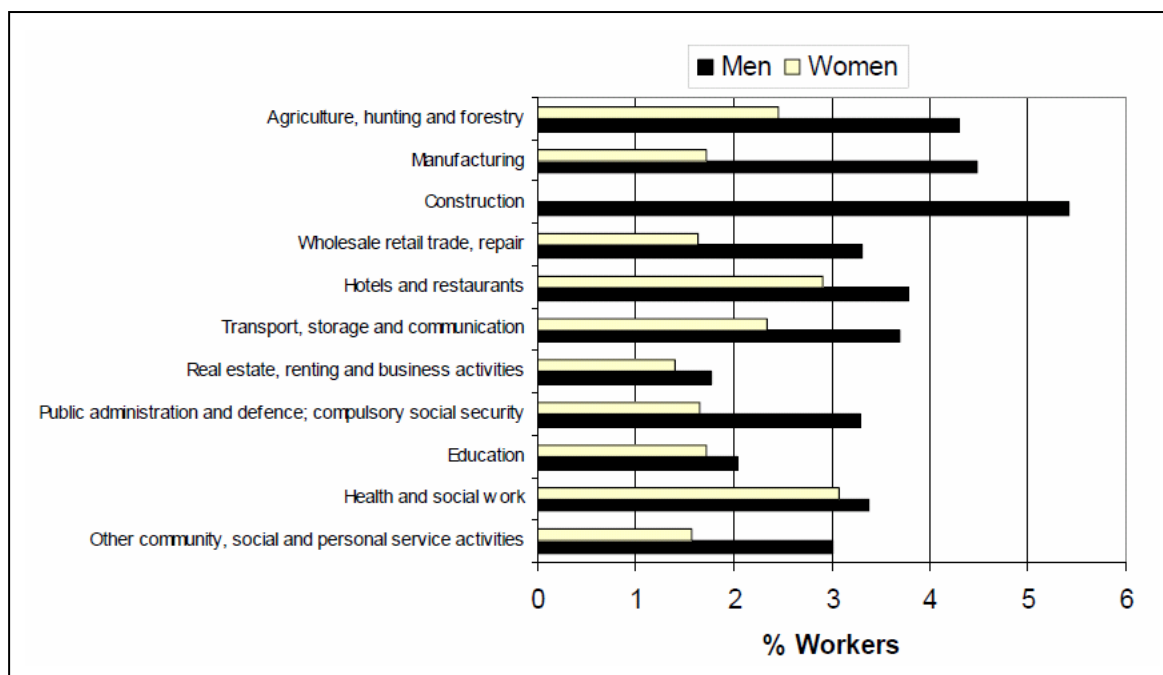


図3 過去 12 ヶ月に 1 以上の災害に遭った労働者の業種別の状況



図中用語:

Agriculture, hunting and forestry: 農業、狩猟および林業

Manufacturing: 製造

Construction: 建設

Wholesale retail trade, repair: 卸小売、修理

Hotels and restaurants: ホテルおよびレストラン

Transport, storage and communication: 運輸、倉庫、通信

Real estate, renting and business activities: 不動産、賃貸

Public administration and defense; compulsory social security: 公務および防衛、必須社会保障

Education: 教育

Health and social work: 医療および社会事業

Other community, social and personal service activities: その他の地域、社会および個人サービス

注: 漁業、鉱業および採石業、電気ガス水道、建設(女性)、金融は、図の数値に含まれていない。

図 4 過去 12 ヶ月に発生した労働災害の職種別の状況



軍はこの数値に含まれていない。

業務災害は、農業、製造業、建設業において最も多い。性別では大きな差異がある。男性のうち、最も高いリスクは建設業と製造業であり、女性では医療、ホテル・レストランである(図 3)。

職種別では、現場労働者(Skilled manual worker) が、最も被災する可能性が大きい(図 4)。さらに、労働災害を被る可能性を増加させる業務特性としては、交代勤務と不定期労働時間勤務が挙げられる。

### 道路交通災害

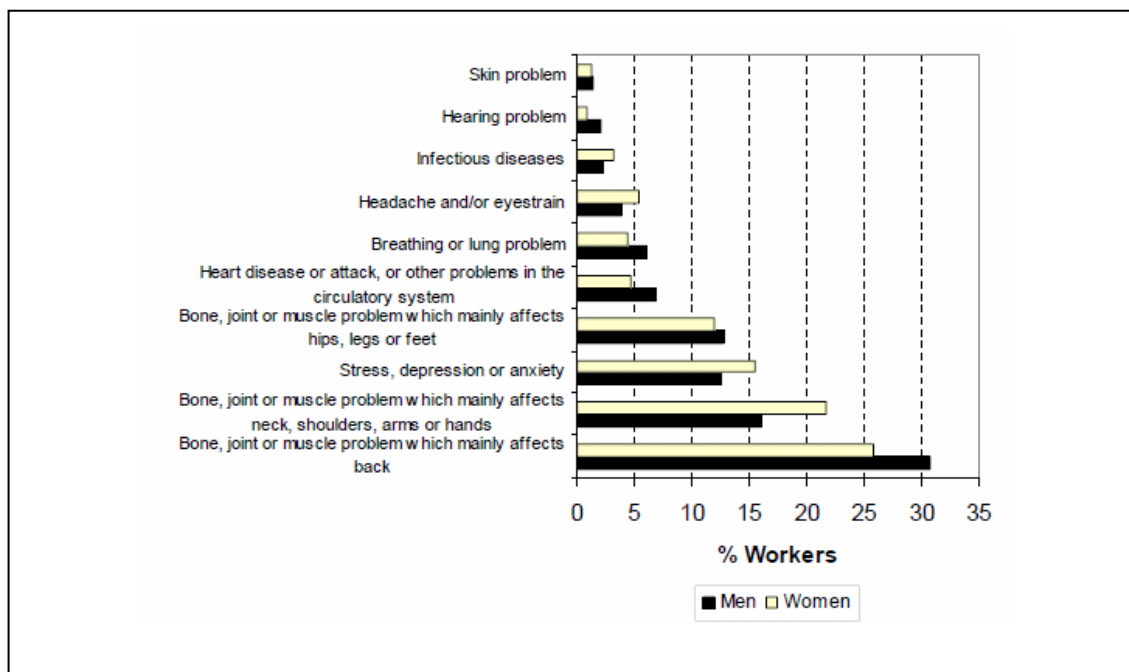
労働災害の 9.6%は、業務中に発生した交通災害である。男性が女性よりも被る可能性が多く、71%は男性である。約 18%は、運輸業で発生しており、次いで製造業(17%)が多くなっている。

結論として、欧州連合域内 27 カ国の労働者の 3.2%が 1 年間に業務上の災害に遇っており、男性、現場労働者が多く、かつ、建設業、製造業および農業で多く発生している。

**業務関連健康問題**

欧州連合域内 27 カ国の労働者の 8.6%、すなわち 2,000 万人が調査前 12 ヶ月間に業務関連の健康問題を経験している。また、労働者の 2.1%が 2 以上の健康問題を経験している。

**図 5 過去 12 ヶ月間に経験した健康問題**



図中用語:

Skin problem: 皮膚炎

Hearing problem: 難聴

Infectious diseases: 伝染病

Headache and/or eyestrain: 頭痛、目の疲れ

Breathing or lung problem: 呼吸、胸部障害

Heart disease or attack, or other problems in the circulatory system: 心臓疾患、発作またはその他の循環器系障害

Bone, joint or muscle problem which mainly affects hips, legs or feet: 腰、脚、足関連障害

Stress, depression or anxiety: ストレス、不安、悩み

Bone, joint or muscle problem which mainly affects neck, shoulders, arms or hands: 首、肩、腕、手関連障害

Bone, joint or muscle problem which mainly affects back: 背部関連障害

健康問題をもつ労働者について、腰痛(28%)、首、肩、腕または手の問題(19%)およびストレス、強い不安および悩み(14%)が重篤な健康問題として多い。筋骨格系障害の中では、腰痛については、男性が女性よりも多く、女性においては首、肩、腕または手の健康障害が多い(図 5)。

図 6 過去 12 ヶ月間に経験した健康問題の年齢階層別の状況

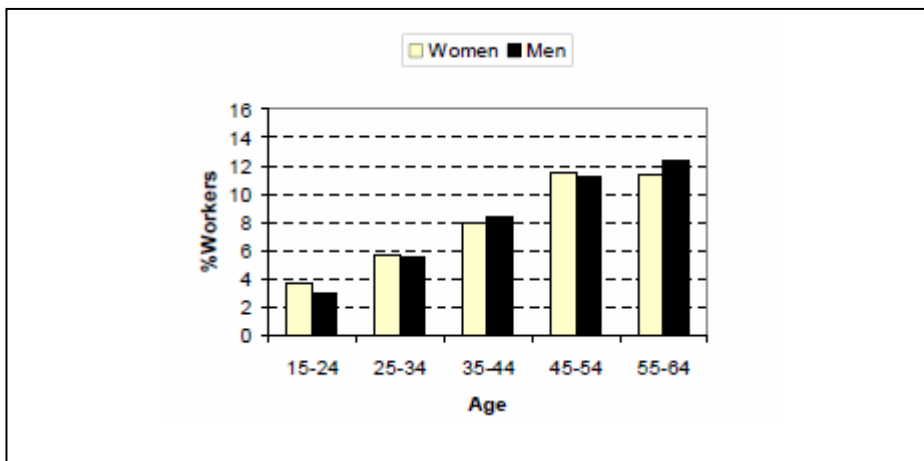
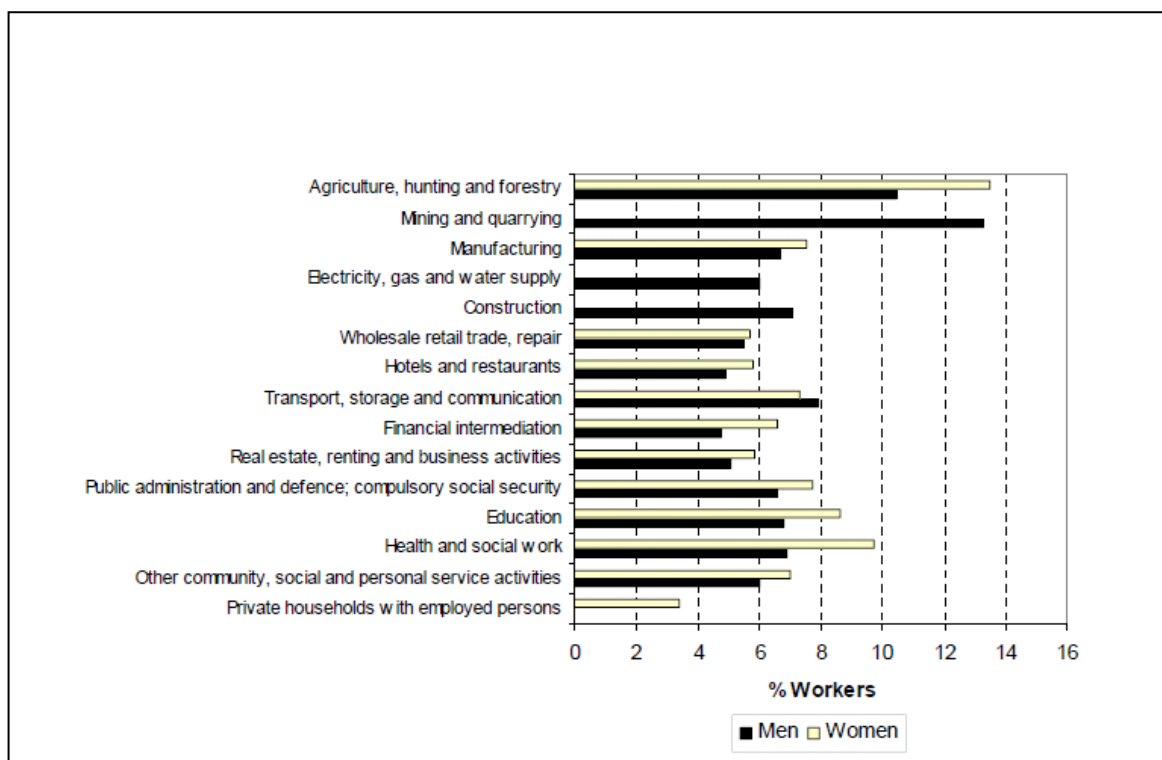


図 6 は、加齢とともに健康問題が増加していることを示している。若年層では、男性より女性が若干多くの健康問題をもっており、また、最も高い年齢層では、女性より男性が若干高くなっている。

図 7 過去 12 ヶ月間に労働者が経験した健康問題の業種別の状況



図中用語:

Agriculture, hunting and forestry: 農業、狩猟および林業

Mining and quarrying: 鉱業および採石

Manufacturing: 製造

Electricity, gas and water supply: 公益事業

Construction: 建設

Wholesale retail trade, repair: 卸し小売、修理

Hotels and restaurants: ホテル、レストラン

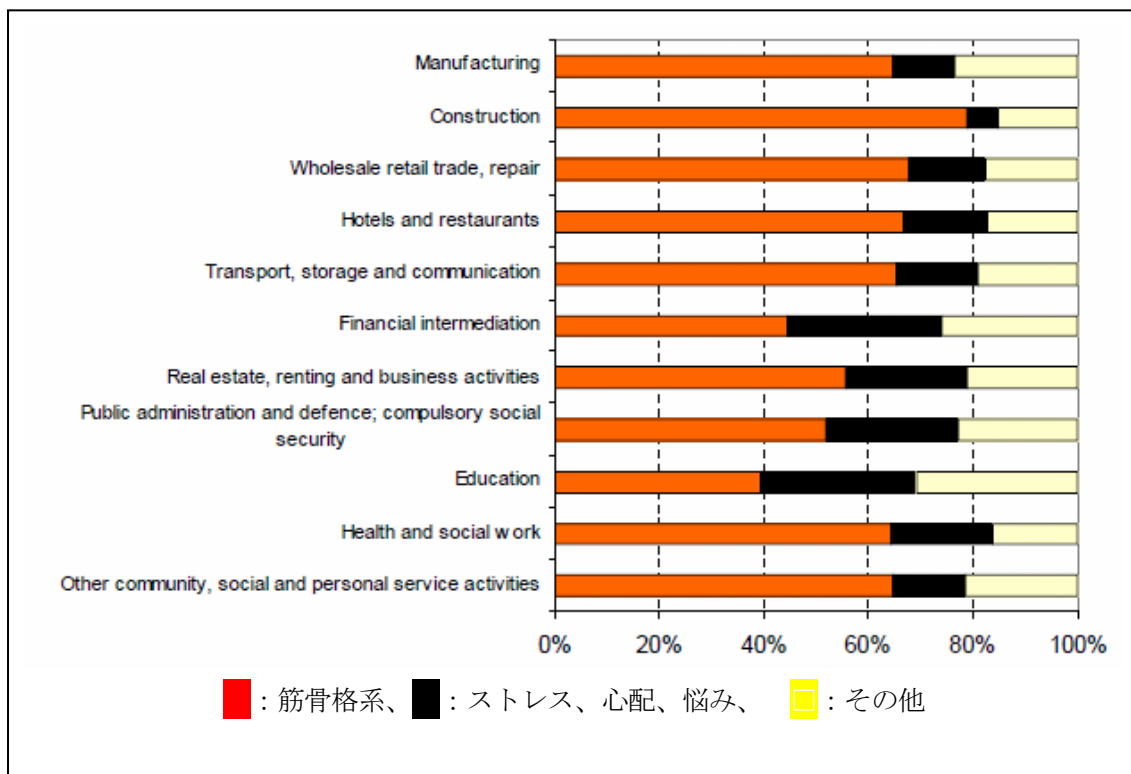
Transport, storage and communication: 運輸、倉庫および通信

- Financial intermediation: 金融
- Real estate, renting and business activities: 不動産、賃貸
- Public administration and defense; compulsory social security: 公務および防衛、必須社会保障
- Education: 教育
- Health and social work: 医療および社会福祉
- Other community, social and personal service activities: その他の地域、社会および個人サービス
- Private households with employed persons: 人を雇用している個人世帯

注: 図の数値には、漁業、鉱業および採石業(女性)、電気、ガス、水道(女性)、家事従業者(男性)および域外機関は含まれていない。

業務関連健康問題は、農業、鉱業および採石業、医療関係業界において多く発生している。農業、医療関係においては、女性の方が男性よりも多くの業務関連健康問題を体験している(図 7)。この二つの業種においては、腰痛関連健康問題が最も重篤なものである。

図8 過去 12ヶ月間の健康問題のタイプの業種別状況



図中用語:

- Agriculture, hunting and forestry: 農業、狩猟および林業
- Mining and quarrying: 鉱業および採石
- Manufacturing: 製造
- Electricity, gas and water supply: 公益事業
- Construction: 建設
- Wholesale retail trade, repair: 卸し小売、修理
- Hotels and restaurants: ホテル、レストラン
- Transport, storage and communication: 運輸、倉庫および通信

Financial intermediation: 金融

Real estate, renting and business activities: 不動産、賃貸

Public administration and defense; compulsory social security: 公務および防衛、必須社会保障

Education: 教育

Health and social work: 医療および社会福祉

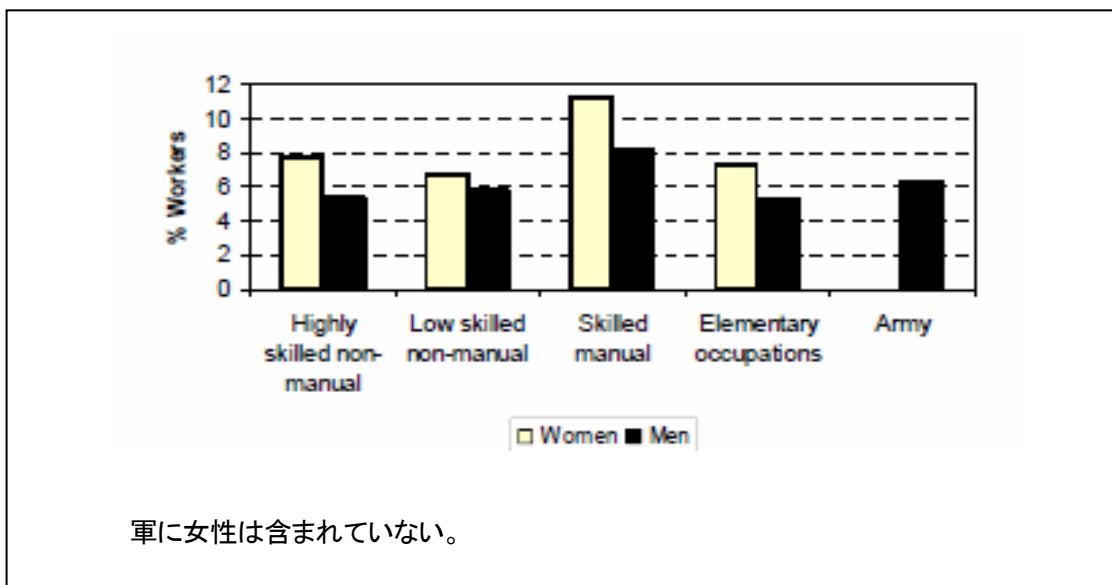
Other community, social and personal service activities: その他の地域、社会および個人サービス

Private households with employed persons: 人を雇用している個人世帯

図の数値には、漁業、鉱業および採石業、電気、ガス、水道および域外機関は含まれていない。

図 8 は、すべての業種において筋骨格系条件一般(背中、首、肩、腕、手、腰、足に影響を及ぼす関節、筋肉)が最も重篤な業務関連上の健康問題であることを物語っている。ストレス、強い不安およびうつがこれに続いており、金融仲介業と教育関連が最も多くなっている。

図 9 過去 12 ヶ月間の業務関連健康問題の職種別の状況

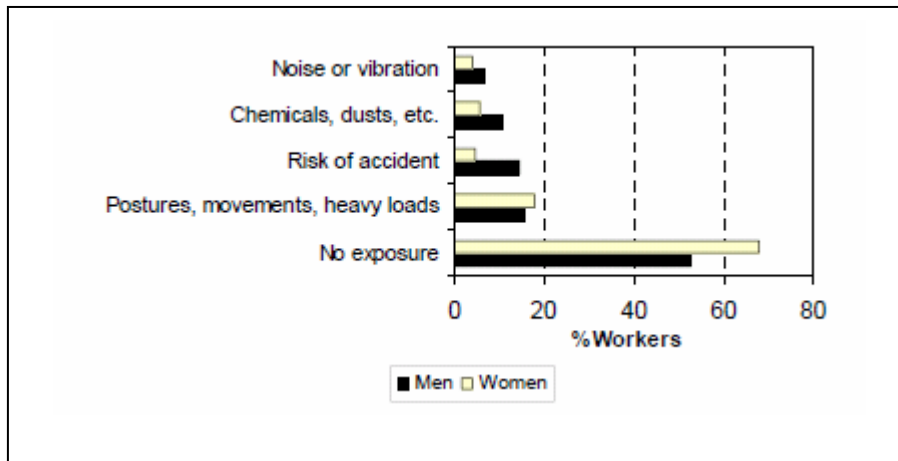


熟練現場労働者は、業務関連健康問題をより経験しやすく、(図 9) 継続雇用、不定期労働時間および交代制の勤務形態の労働者が業務関連健康問題がより多い。

結論として、欧州連合域内の 8.6%の労働者が過去 12 ヶ月以内に 1 以上の業務関連健康問題を経験しており、これらの健康問題は、高年齢労働者、熟練肉体労働者および農業、鉱業および採石業、および医療関連業種の労働者において多いことがわかる。

身体健康、メンタルヘルスに悪影響を及ぼす要因へのばく露

図 10 身体的健康に悪影響を及ぼす主な要因

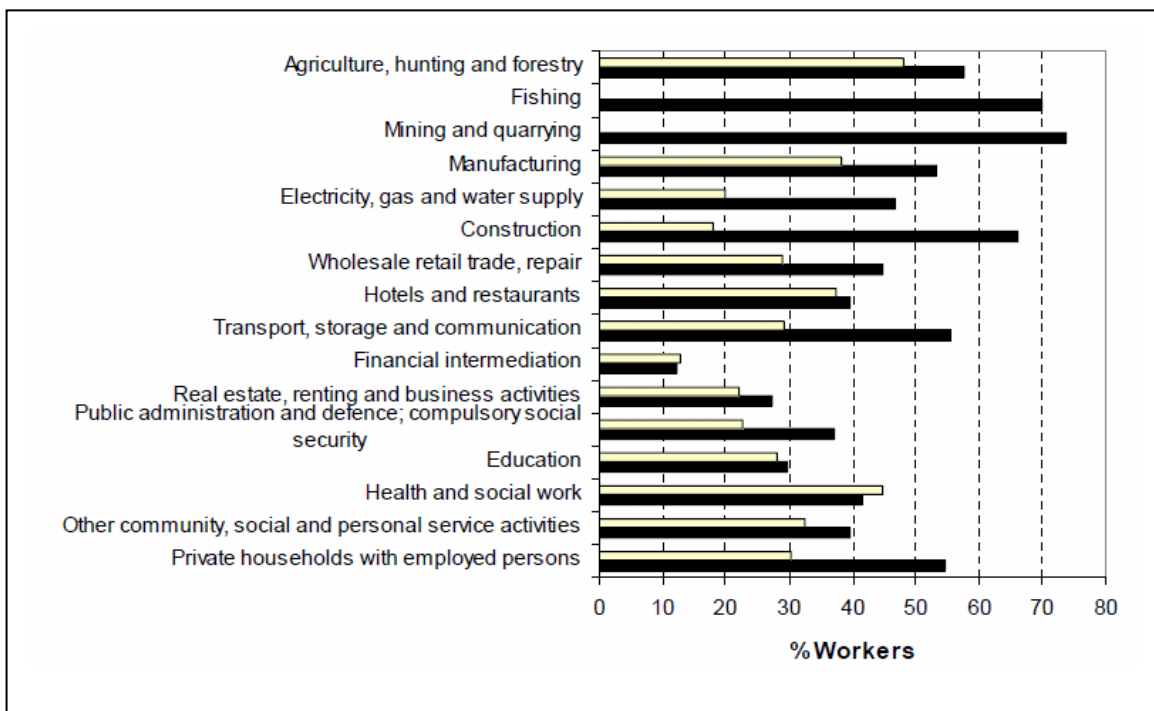


図中用語:

- Noise or vibration: 騒音、振動
- Chemicals, dusts, etc.: 化学物質、粉じん等
- Risk of accident: 災害リスク
- Postures, movements, heavy loads: 姿勢、動作、重量物
- No exposure: ばく露なし

身体健康に悪影響を及ぼす職場における 1 以上の要因へのばく露は労働者の 41%、すなわち 8,100 万人に上っている。最も多い要因は、難しい作業姿勢、動き、重量物の取扱いである(図 10)。

図 11 身体的健康に悪影響を及ぼす 1 以上の要因へのばく露労働者の業種別割合



暴



図中用語:

Agriculture, hunting and forestry: 農業、狩猟および林業

Fishing: 漁業

Mining and quarrying: 鉱業および採石業

Manufacturing: 製造業

Electricity, gas and water supply: 公益事業

Construction: 建設業

Wholesale retail trade, repair: 卸し小売、修理

Hotels and restaurants: ホテル、レストラン

Transport, storage and communication: 運輸、倉庫および通信

Financial intermediation: 金融

Real estate, renting and business activities: 不動産、賃貸

Public administration and defense; compulsory social security: 公務および防衛、必須社会保障

Education: 教育

Health and social work: 医療および社会福祉

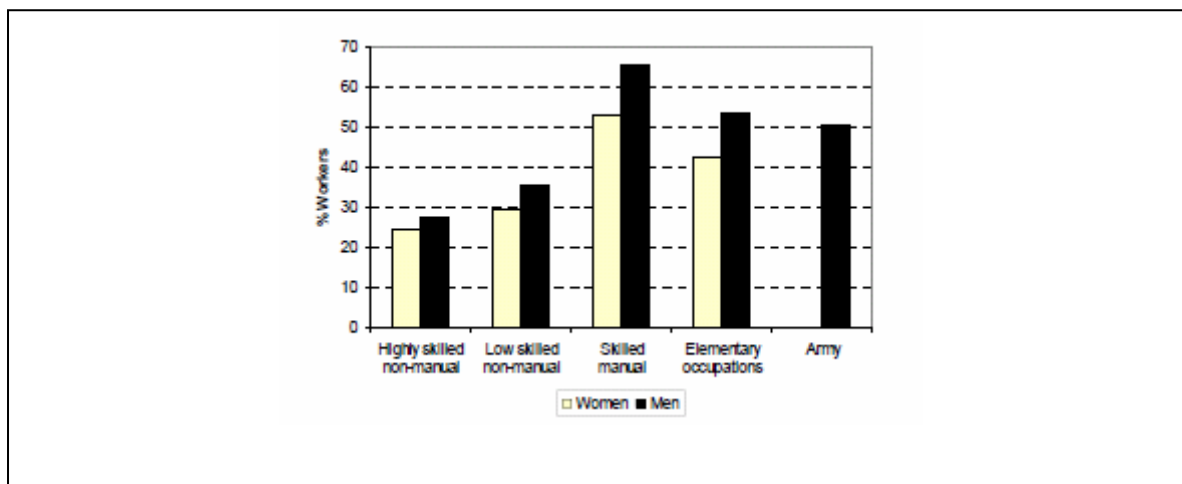
Other community, social and personal service activities: その他の地域、社会および個人サービス

Private households with employed persons: 人を雇用している個人世帯

図中の数値には、漁業(女性)、鉱業および採石業(女性)、および域外機関は含まれていない。

男性では、鉱業および採石業、漁業および建設業で最も多く、女性では農業、医療関連において最も多くなっている。(図 11)

図 12 身体健康に悪影響を及ぼす 1 以上の要因へのばく露労働者の職務態様別割合



図中用語:

Highly skilled non-manual: 高度熟練で非現場労働

Low skilled non-manual: 低熟練日現場労働

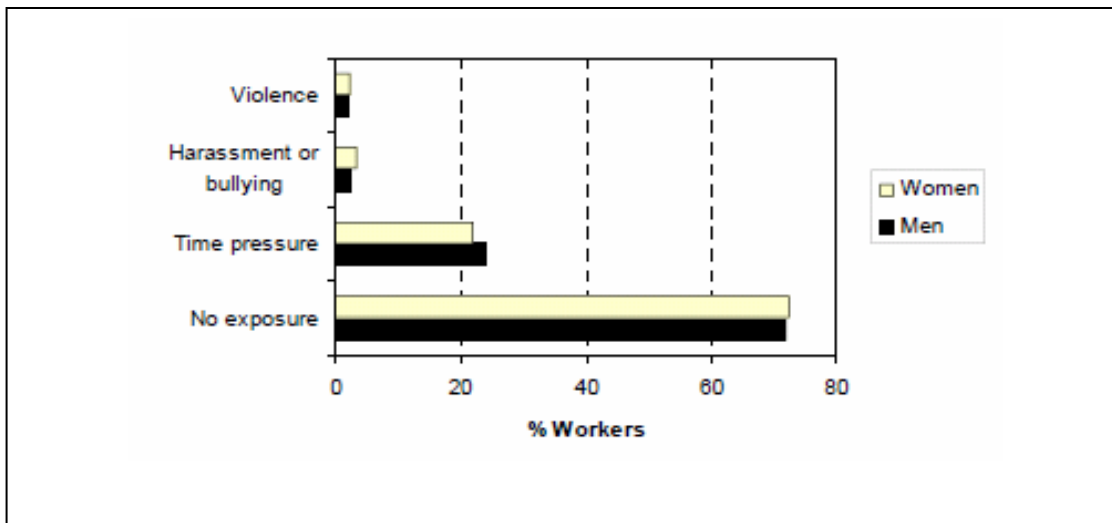
Skilled manual: 熟練現場労働

Elementary occupations: 基本的職業

Army: 軍(女性は含まず)

熟練現場労働者は、身体健康に悪影響を及ぼすリスク要因に最も多く直面している(図 12)。次いで、交代制勤務および不定期労働時間勤務の労働者となっている。

図 13 メンタルヘル스에悪影響を及ぼす主な要因



図中用語:

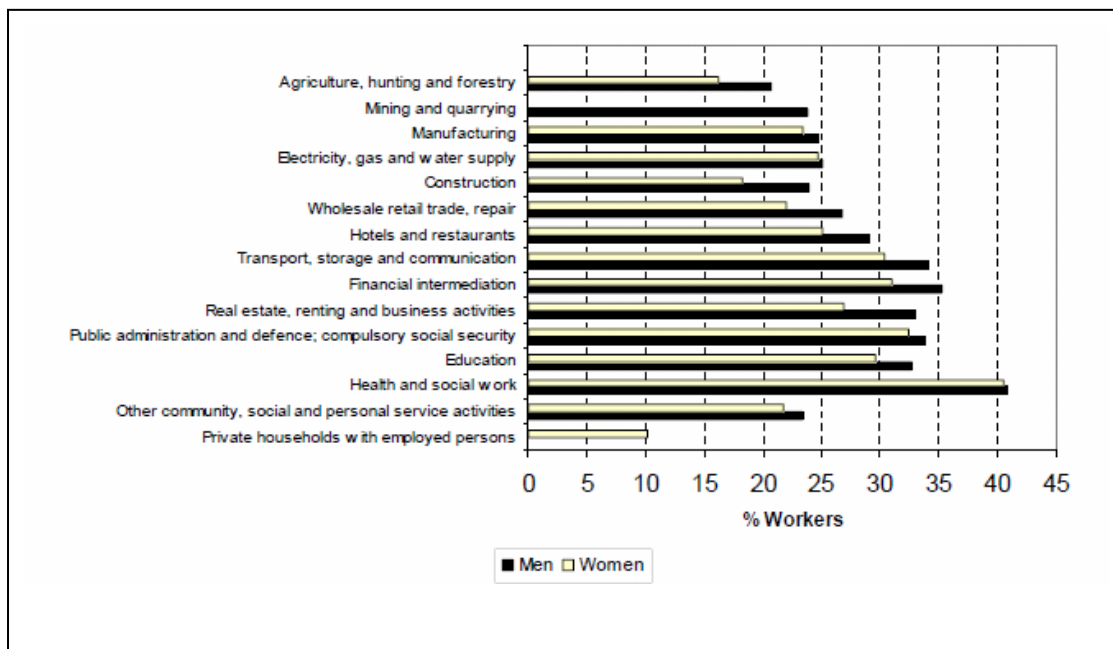
Violence:暴力

Harassment or bullying:嫌がらせ、またはいじめ

Time pressure:時間的制約

No exposure:ばく露なし

図 14 メンタルヘル스에悪影響を及ぼす 1 以上の要因へのばく露労働者の業種別割合



図中用語:

Agriculture, hunting and forestry: 農業、狩猟および林業

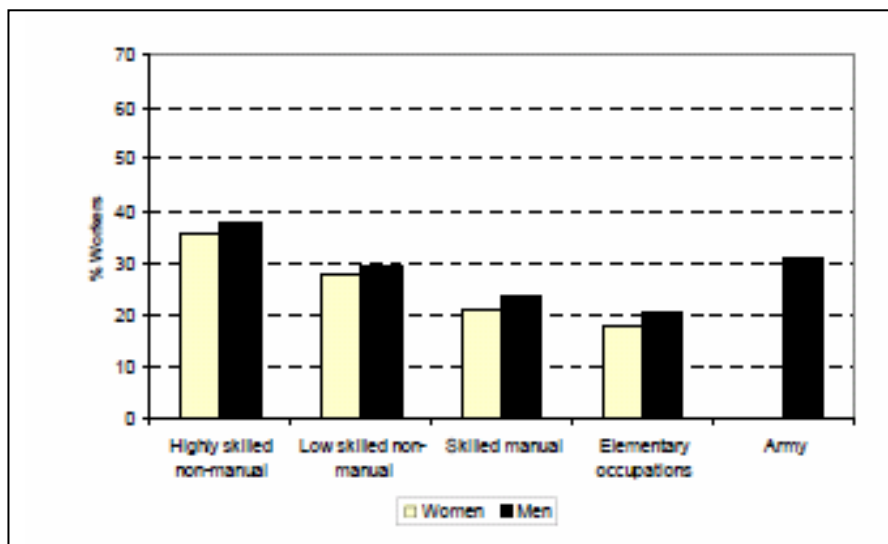
Mining and quarrying: 鉱業および採石業

Manufacturing: 製造業

- Electricity, gas and water supply: 公益事業
- Construction: 建設業
- Wholesale retail trade, repair: 卸し小売、修理業
- Hotels and restaurants: ホテルおよびレストラン
- Transport, storage and communication: 運輸、倉庫および通信業
- Financial intermediation: 金融業
- Real estate, renting and business activities: 不動産、賃貸業
- Public administration and defense; compulsory social security: 公務および防衛、必須社会保障
- Education: 教育
- Health and social work: 医療および社会福祉事業
- Other community, social and personal service activities: その他の共同体、社会および個人サービス
- Private households with employed persons: 人を雇用している個人世帯

図中の数値には、漁業、鉱業採石(女性)、個人世帯(男性)および地域外機関は含まない。

図 15 メンタルヘルスに悪影響を及ぼす 1 以上の要因へのばく露労働者の職務態様別状況



欧州連合 27 カ国において、職場におけるメンタルヘルスに悪影響を及ぼす 1 以上の要因へのばく露は、労働者の 28%、5,600 人に上っている。時間的な圧迫および過重労働が、主要な要因として最も多く挙げられている。男性、女性ともほぼ同様な割合である(図 13)。

ばく露労働者の割合が最も多いのは、医療関係業種で(図 14)、また高度の熟練を要求される非現場労働者である(図 15)。

非定期労働時間制労働者、常用労働者および労働者 11 名以上を雇用する企業の労働者に、メンタルヘルス上悪影響を及ぼす要因へのばく露が多く見られる。

結論として、身体健康へ悪影響を及ぼす要因へのばく露が男性および熟練現場労働者(High skilled manual)に多く、メンタルヘルスに悪影響を及ぼす要因へのばく露は、高度の熟練を要求される非現場労働者(High skilled non-manual)に多い。

各国ごとの数値表及び統計作成上の説明は省略

なお、前記の各図の数値は、別 file の Tables に掲載されている。

<http://epp.eurostat.ec.europa.eu/portal/page/portal/health/documents/tables.pdf>